

大阪府・市は、大阪・関西のグローバルな競争力向上と日本経済全体の復権への貢献を目指し、行政改革及び成長戦略の一層の推進と、府・市及び官民連携の更なる強化を～橋下府政・平松市政における重要施策とその進捗状況について(同友会提言のフォローアップ評価を中心に)～

I. 提言の背景

・大阪府知事選、大阪市長選まで残り1年を切り、次の首長選挙を前に、橋下府政・平松市政におけるこれ迄3年強の様々な取組に対して、地元経済界という第三者の立場からの中間評価と提言を行うもの。

・橋下知事・平松市長の選挙時マニフェストや首長就任後に策定した重要施策の実行体制や取組全般について評価することに加えて、特に重要と目される分野については進捗状況を評価し提言を行う。

II. マニフェストと就任後の重要施策の実行体制や取組全般に対する評価

評価対象の「マニフェスト」(下線)と「就任後の重要施策」

大阪府

『おおさか』を笑顔にするプラン(19/12)
「大阪維新」プログラム(20/6)
将来ビジョン・大阪(20/12)
部長マニフェスト(21/6)
「大阪発」地方分権改革"ビジョン"(21/3)
府政運営の基本方針(22/2,22/11)
大阪府財政構造改革プラン(22/8)
「大阪の成長戦略」(22/12)

大阪市

元氣アップ大阪(19/10)
市政改革マニフェスト修正版(20/3)
「元氣な大阪」をめざす政策推進ビジョン(21/3)
「地域主権確立宣言」(22/7)
「なにわネットサテンス 2011 -新しい大阪市をつくる市政改革基本方針-」(23/3)
「大阪市経済成長戦略」(23/3)

～評価結果概要～

- ◎ 選挙時マニフェストは、4つの要件たる、期限、財源、数値目標、工程表が不十分。
- ◎ 両首長とも就任後、行政再建、財政再建、重点事業の明確化や経済成長戦略といった重要分野の施策を策定しており、課題認識、目標設定の具体性、PDCAサイクルを前提とした実行体制といった面で大きく進化。
- ◎ 橋下府政・平松市政とも、就任後の重要施策策定において、外部有識者の知見の吸収や情報公開といった面で一定の評価。
- ～今後に向けて～
- ☆ 今後は、進捗評価に関する客観性を高めるべく、自己評価だけでなく、外部評価委員会の立ち上げや住民アンケート実施も検討に値する。
- ☆ 次期首長選挙ではマニフェストの4つの要件と候補者の政策の優先順位等が明示されることを期待。

III. 当会のこれ迄の提言

- H18/5 【大阪府】「大阪府は交通局の完全民営化を19年度当初より実施せよ」
- H19/1 【府・市】「大阪府水道局は更なる経営改革を進めよ！そして府市連携を推進し広域行政化の先鞭とせよ！！」
- H20/4 【大阪府】「平松大阪市長への提言」
市政改革の推進／人件費削減／交通局完全民営化／二重行政の解消／情報公開／経済活性化戦略会議の創設
- H20/4 【大阪府】「橋下大阪府知事への提言～財政再建と経済成長の両立を目指して～」
- H20/8 【府・市】「大阪府・市は大阪都市圏全体の成長力アップに資する改革に取り組み！」
交通局長の完全民営化／府市連携の促進(水道の広域化等)／府・市議会改革
- H22/4 【大阪府】「大阪府は、政策遂行力を強化するために、保有資産を総動員すべき！～全国に先駆けて「ストック活用アプローチ(資産仕分けアプローチ)」の導入を～」

マニフェストと就任後の重要施策のテーマも踏まえ、進捗評価の対象として、

- A. 財政再建、B. 府政・市政改革、C. 経済成長戦略、D. 二重行政、水道事業の府・市連携等
- E. 大阪府交通局の民営化、F. 大阪市の公有財産の利活用 を抽出。

IV. 進捗評価 (評価概要と提言)

A. 財政再建

府・市は、バランスシート改善に向けて、更なる歳出削減・歳入増加に向けた取組を！そして、健全で安定した財政基盤確立と、大阪の国際競争力強化に資する戦略的財務マネジメントの実現を！

- ◎ 両首長とも就任後に財政再建に取り組んでおり、人件費削減や事務事業見直し等で一定の成果を上げ、財政指標の改善も見られる。
- ◎ 府・市とも収支(フロー)は改善したものの、ストック面では既存の債務負担が大きく、類似自治体との比較でも厳しい状況。

B. 府政・市政改革

府・市は、府政・市政改革の取組を推進し、局横断的な重要課題に取り組んでいくためにも、縦割り打破し、組織力・職員力の更なる強化を！そして、大阪の復活を実現するために、政策立案・遂行力の一層の向上を！

- ◎ 両首長とも府政・市政改革を重要分野と捉え、情報公開や民間ノウハウの導入等を各々積極的に推進。
- ◎ 今後は一層の組織スリム化と同時に、局横断的課題に取り組むべく、組織力・職員力の強化という視点が重要。

C. 経済成長戦略

府・市は一体となつて、中小企業対策や重点産業分野強化等の成長戦略の実施を！そして、大阪・関西のグローバルな競争力向上と日本経済全体の復権への貢献を目指し、経済団体との協働等を通じて、今こそ知恵とエネルギーを結集すべき！

- ◎ 府・市ともに経済成長は低位で推移。特に両首長とも中小企業支援で具体事業を実施するも、域内中小企業の経営環境は改善せず。
- ◎ 府・市とも昨年度後半に今後10年間の成長戦略を策定しており、アジアの中核拠点化を目指す。

D. 二重行政、水道事業の府・市連携等

二重行政解消に向け、両首長のリーダーシップにより、具体的な協議の再開を！
大阪府水道局と大阪広域水道企業団はいま一度、統合に向けた協議を進めよ！

- ◎ 府・市とも二重行政の事業仕分けといった取組を行うも、具体の協議というステップへは繋がらず。
- ◎ 大阪府水道局の経営合理化に向けた取組は評価されるが、今後の水需要の減少や更新投資需要の増加を踏まえ、更なる経営基盤強化が重要。
- ◎ 水道事業統合構想が一旦頓挫した後、大阪広域水道企業団は府域一水道を、大阪府水道局は広域連携を今後の目標に位置付けるも、具体の協議は行われていない。

E. 大阪府交通局長の民営化

大阪府交通局は、民間事業者並みの財務指標の達成に向けて、今後とも経営改善への取組を！また、大阪・関西の成長のための交通ネットワーク整備の明確化を！そして、完全民営化の推進を！

- ◎ 地下鉄・バス事業について、近年の経営改善努力や財務情報の開示に向けた取組は進むも、依然として一般会計補助金等に依存。地下鉄事業は、既存の債務残高が大きく、人員削減や駅ナカ事業強化等、一層の経営改善努力が必要。バス事業は「アクションプラン」に掲げた取組の具体化が重要。
- ◎ 大阪の都市競争力強化のため、交通ネットワーク全体の利便性や価値を高めるといった視点が益々重要。平松市政下で中断している民営化に向けた具体的な検討の再開が強く望まれる。

F. 大阪市の公有財産の利活用

戦略的ストック利活用策を早期策定し、大阪・関西の成長戦略に資する公有財産利活用の推進を！

- ◎ ここ数年の売却実績、庁内横断的な資産流動化合同チームの設置、利活用対象範囲の拡大や公有財産データベースの整備と情報開示等は、利活用推進に向けた取組として評価される。
- ◎ 市財政上の短期的な赤字穴埋めではなく、大阪の成長戦略のための財源捻出や魅力的なまちづくりのための戦略的な取組として位置付けることが重要。また、民間ノウハウの積極活用や周辺自治体との連携可能性の検討も必要。

V. おわりに

残る任期において、両首長とも大阪・関西の未来の成長に向けた布石をしっかりと打つことが重要。大阪府・市は、財政再建、府政・市政改革を弛み無く推進していくとともに、府・市間や周辺都市・府県、関西広域連合との協働、民間企業・経済団体との連携をより一層強化することにより、大阪・関西のグローバルな都市競争力を高め、東日本大震災後の日本経済の復権を牽引していくべき。そして、大阪府・市が戦略的な自治体経営の先駆者となることを期待したい。次期首長選挙候補者が、当提言を踏まえ、次のマニフェストを準備、策定することを望む。